



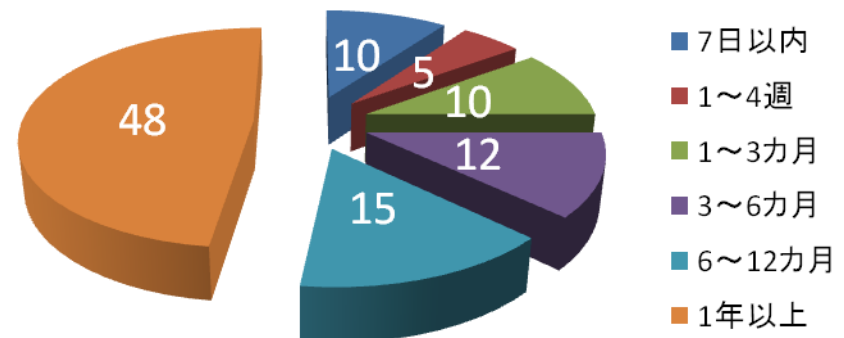
**本当に必要なファイルだけバックアップしてますか？
(法律・規制のためのファイル自動コピー)**

株式会社 和びす

必要なデータだけバックアップしてるか？ ZIDOMA®

- 今、保存されているデータはすべて業務に本当に不可欠なものか？
- 限られた時間とネットワーク速度の制限で、本当に必要なファイルだけ選ぶとするとどれくらいの容量になるのか？
 - すべてのデータをバックアップする必要はない
 - データの整理でバックアップ時間の短縮に繋がる
- 企業のファイルサーバのうち、数か月アクセスされていないファイルは全体の80%以上になる

ファイルアクセスの平均(%)



- **日本版SOX法(金融商品取引法)などの施行に伴い特定のデータを所定の期間保管することが求められるようになった**
 - 会社法: 会計帳簿及び事業に関する重要な書類(10年)
 - 会社法: 計算書類及びその附属明細書(10年)
 - 法人税法施行規則第59条、所得税法施行規則第63条(7年)
 - 取引に関して作成された帳簿
 - 現金の収入支出・預貯金の預入れ引出に際して作成された証憑書類
 - 棚卸資産の引渡し・受入れに際して作成された取引証憑書類
 - 電子取引の取引情報に係る電磁的記録
 - 会社法: 監査報告、会計監査報告(5年)
- **保管すべきデータを特定し、そのデータを保管する仕組みを作りことが必要**

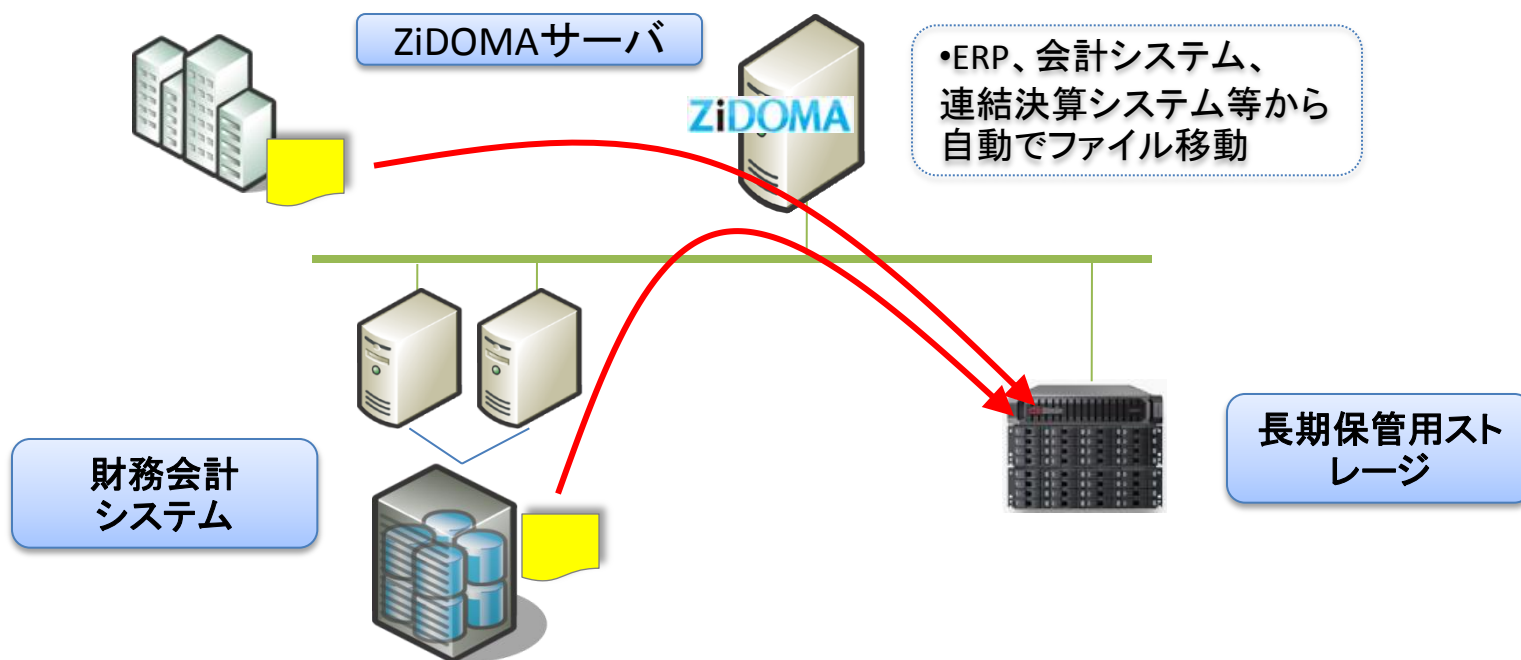
アーカイブとは

- **ポリシーに応じてデータの保管方法を変えることがアーカイブ**
 - ポリシーに従ってデータが自動保管されていれば、管理が楽に
 - アーカイブすべきデータやファイルを見極めることが大切
- **管理者が選ぶのではなく、アプリケーションが自動でコピーする仕組みを作ると非常に楽に管理ができる**
 - ZiDOMAがそのお手伝いを致します
 - ある名前のファイルがファイルサーバに保存されたら、すぐに別なストレージへ自動でコピー
- **監査のときなどデータを探し出す必要が生じた際に、データがまとまっていないと問題となることが多い**
- **データの価値や保管場所、アプリケーションの要件に応じて、データを別のストレージに移すことが必要**
 - ビジネス上の重要性、可用性と性能要件、法律・規制に応じたファイル保管場所の整理

法律で定められたファイルの保管

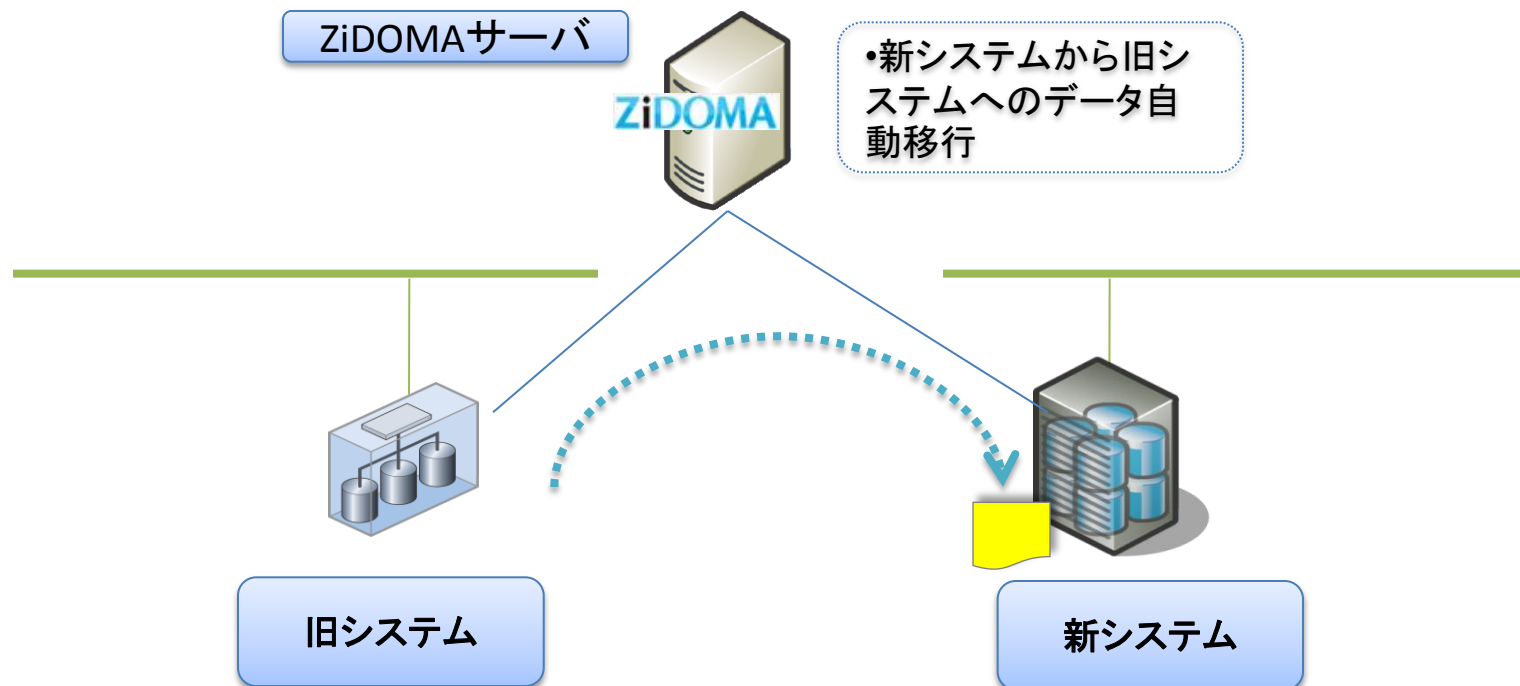
ZiDOMA®

- 特定のフォルダ、特定のファイルを自動的に保管用ストレージへコピー
- 保管用ストレージは、書き込み不可とし、セキュリティを向上
- 監査などで必要なファイルは検索機能ですぐに取り出せる



古いハードウェアからのデータ移行 **ZiDOMA**[®]

- 保守期限を迎えた古いシステムから新しいシステムへのデータ移行を自動で実現
- すべてのファイルを1週間以内にコピーする
- 最終日にファイルアクセス日が当日なものだけをコピーする



ZiDOMA 製品紹介

- ZiDOMAは、企業内に保存されたデータを、日々変化する重要度、作成日時、利用頻度などに応じて、データを移動・コピーし、情報の整理・共有・バックアップを自動化するアプリケーションです
- 複雑なスクリプトを作成せず、GUIからの管理・操作を実現します
- セキュリティのため、人の手を介さずに自動的にデータを移動したい場合に最適なアプリケーションです
- **機能・特徴**
 - 国産のため完全日本語対応
 - Windows、Linux対応
 - 複数ボリューム、複数ユーザのデータを一元管理
 - 柔軟かつ容易にポリシーが設定可能
 - スピーディーに導入が可能（インストール～設定までは約20分）
 - **容量ライセンスではないため、データが増えても追加費用が掛からない**

ZiDOMA - 基本構成

ZiDOMA®

ZiDOMA管理

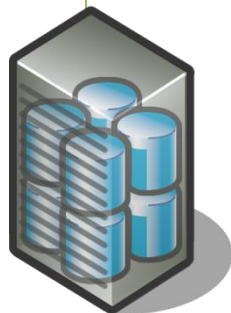


- ポリシーに応じたデータの自動処理を管理
- LinuxもしくはWindowsサーバ

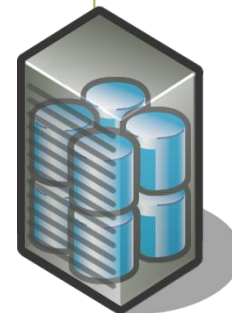
- ZiDOMAをインストールする管理サーバ 1台
- ZiDOMAが管理するファイルが保存されているプライマリストレージとそのファイルを移動させるセカンダリストレージ

対応ストレージ

- FC、iSCSIなど外付けストレージ
- NFS、CIFSにてアクセスするネットワークストレージ



プライマリ
ストレージ



セカンダリー
ストレージ

ZiDOMA - 画面イメージ



The image illustrates the three main configuration steps of the ZiDOMA software:

- ストレージ設定 (Storage Settings):** The first screenshot shows the '設定' (Settings) window with the 'ストレージ' (Storage) tab selected. It displays a list of storage units (MyStorage1, MyStorage2) and fields for configuring storage numbers, names, and paths.
- ポリシー設定 (Policy Settings):** The second screenshot shows the 'ポリシー' (Policy) tab, where users can define new policies (P1) with names and various file-related conditions.
- タスク設定 (Task Settings):** The third screenshot shows the 'タスク' (Task) tab, where specific tasks are configured, including target directories and the application of policies to specific files.

3つの操作で簡単ファイル管理

ZiDOMA - 設定可能なポリシー



- 管理画面から、ポリシー名、ポリシー、データの処理方法を設定する
- ポリシーを組み合わせて設定可能



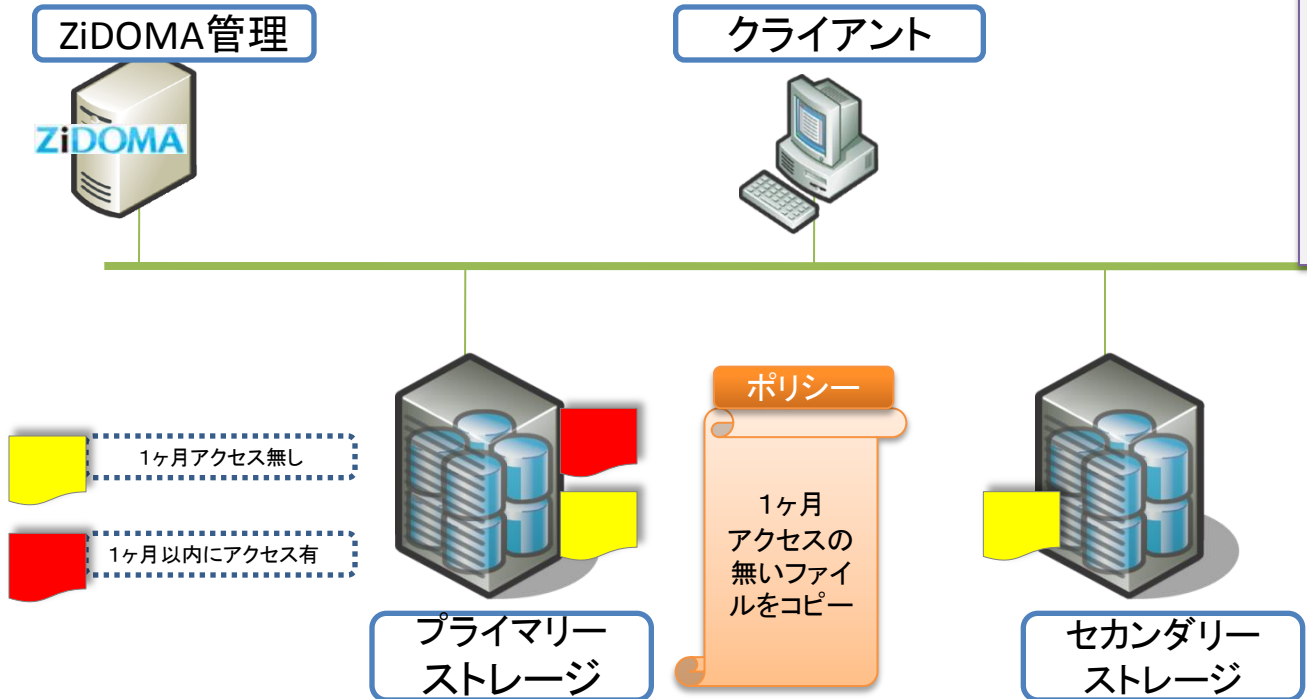
- ファイル作成日時
 - 例) 何カ月前作成のファイルは全て移動
- ファイル更新日時
 - 例) 何カ月以上更新がないファイルを移動
- ファイルアクセス日時
 - 例) 何カ月以上アクセスがないファイルは使われていないとみなして移動
- ファイル所有者
 - 例) 退職した社員のファイルは全て移動
- ファイル名
 - 例) .jpg, .pptなど拡張子に応じてファイル移動
- ファイルサイズ
 - 例) サイズの大きなファイルは容量を圧迫するのですぐに移動

ZiDOMA - 基本動作 <コピー>



ポリシーに該当するデータを2次ストレージにコピー(複製)する機能

- 用途例
- 文書などを長期保存
 - 法律、規則で定められたログ、データの長期保存
 - 災害対策としてデータをバックアップ



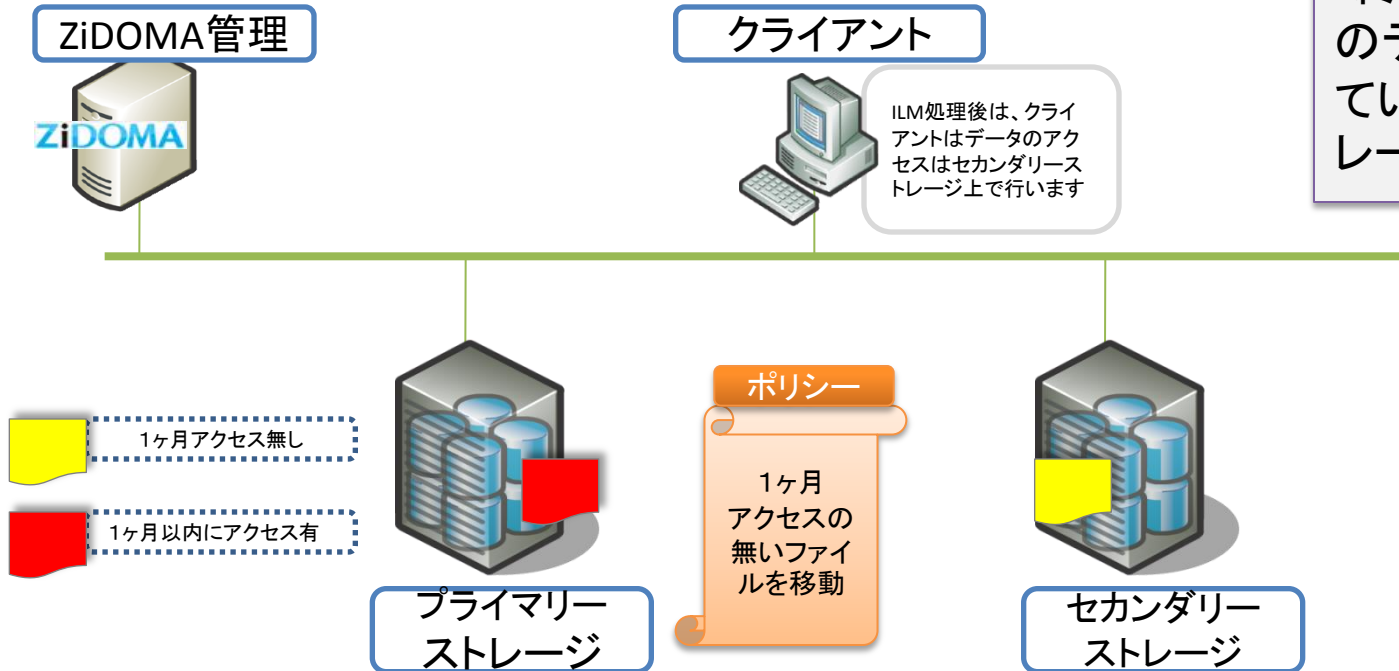
ZiDOMA - 基本動作 <移動>



ポリシーに該当するデータを2次ストレージに移動(移行)する機能

用途例

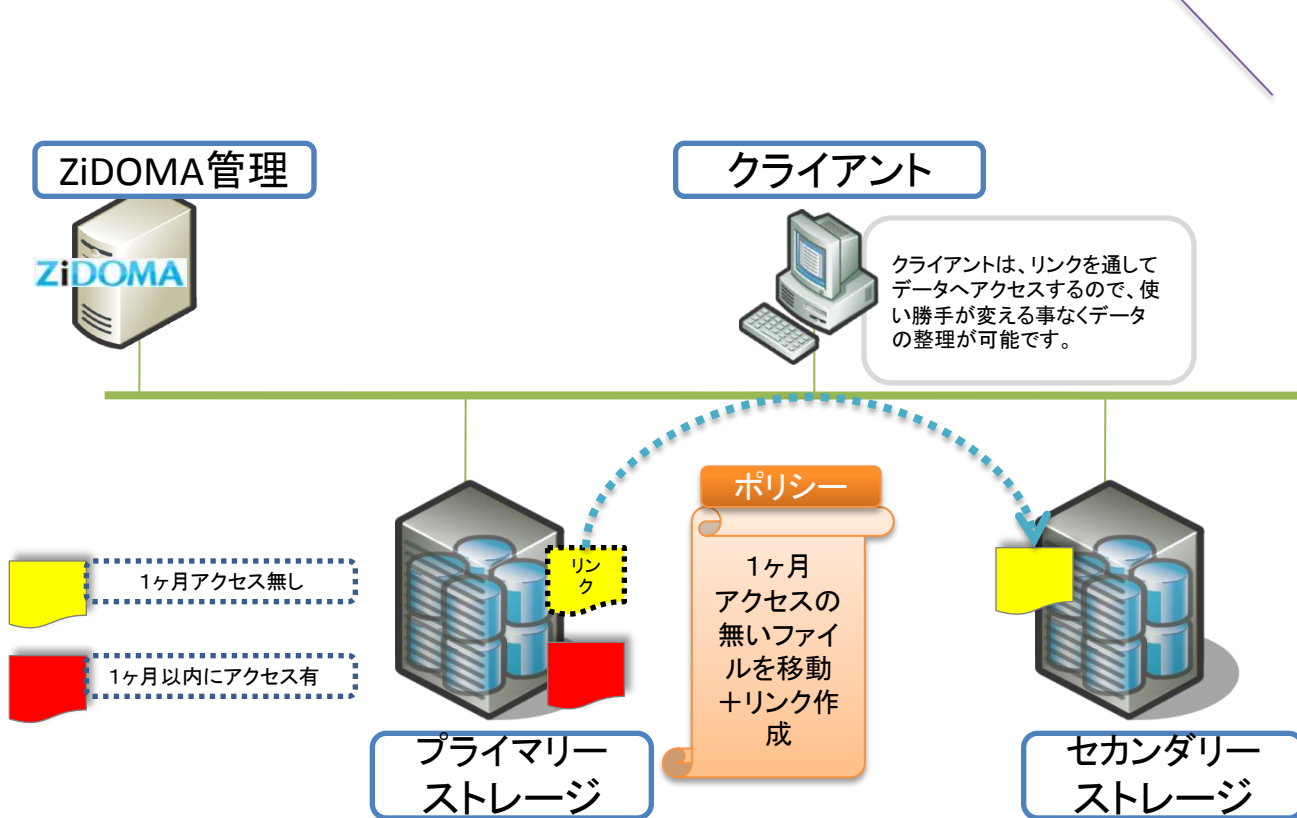
- 終了したプロジェクトのデータを、期間を置いていて廉価なストレージに移動したい



ZiDOMA - 基本動作 <リンク>



ショートカット(リンク)を作成して、
ポリシーに該当するデータを2次ストレージに移動する機能

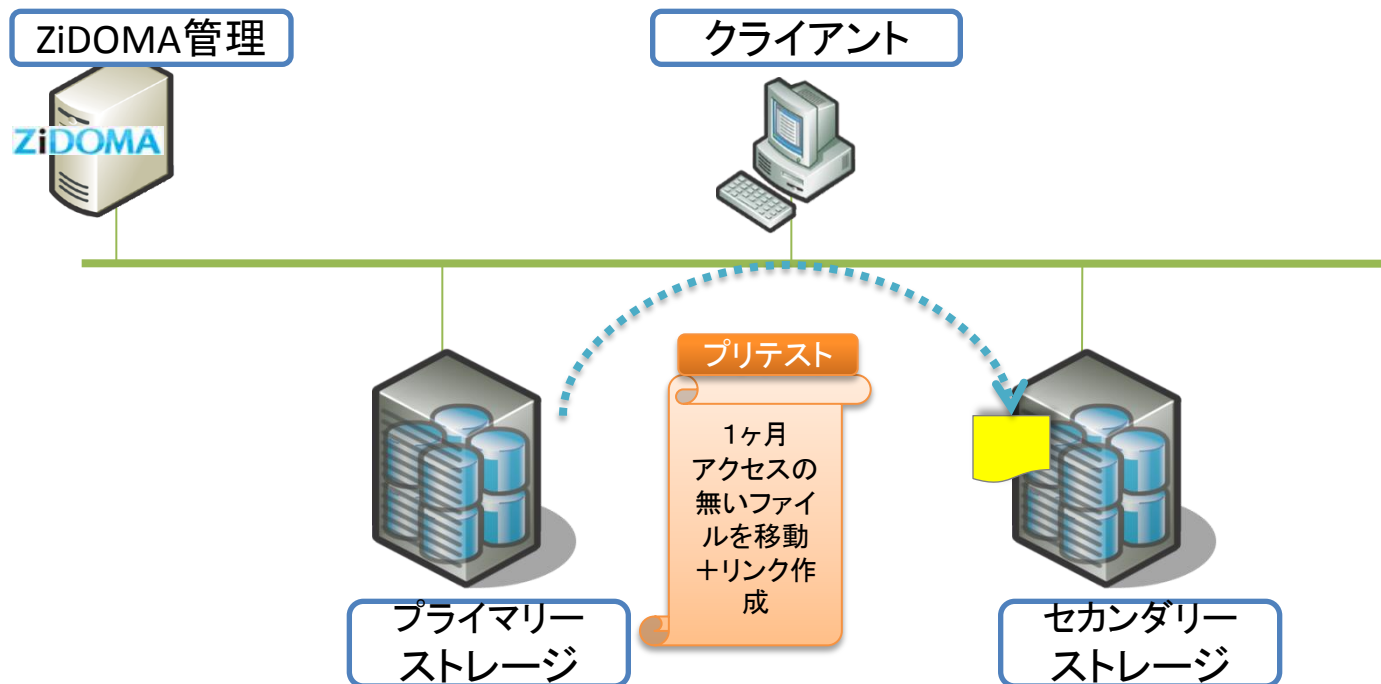


用途例

- 参照頻度は比較的高いが、高価なストレージに保存しておく必要がないものを移動したい場合

実際に動くのか：プリテスト機能

- 本当に動作するかどうか、動作させたらどのファイルが移動されるかを事前にテストするために「プリテスト機能」を搭載
- プリテスト機能でポリシーの整合性チェックが可能

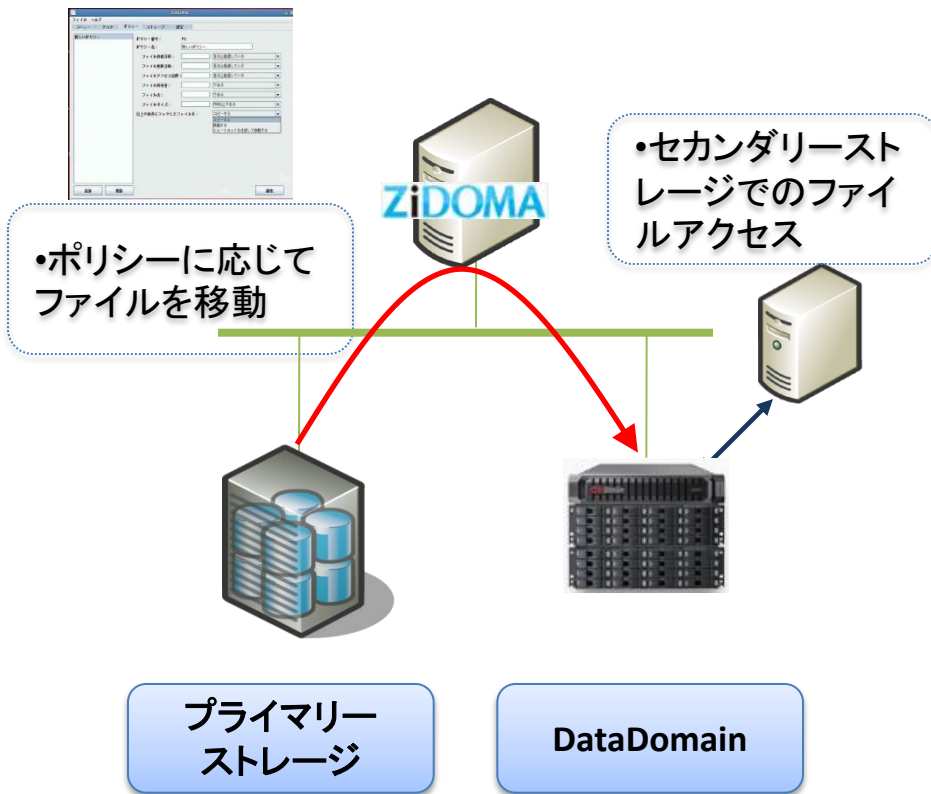


バックアップソフトウェアとの比較



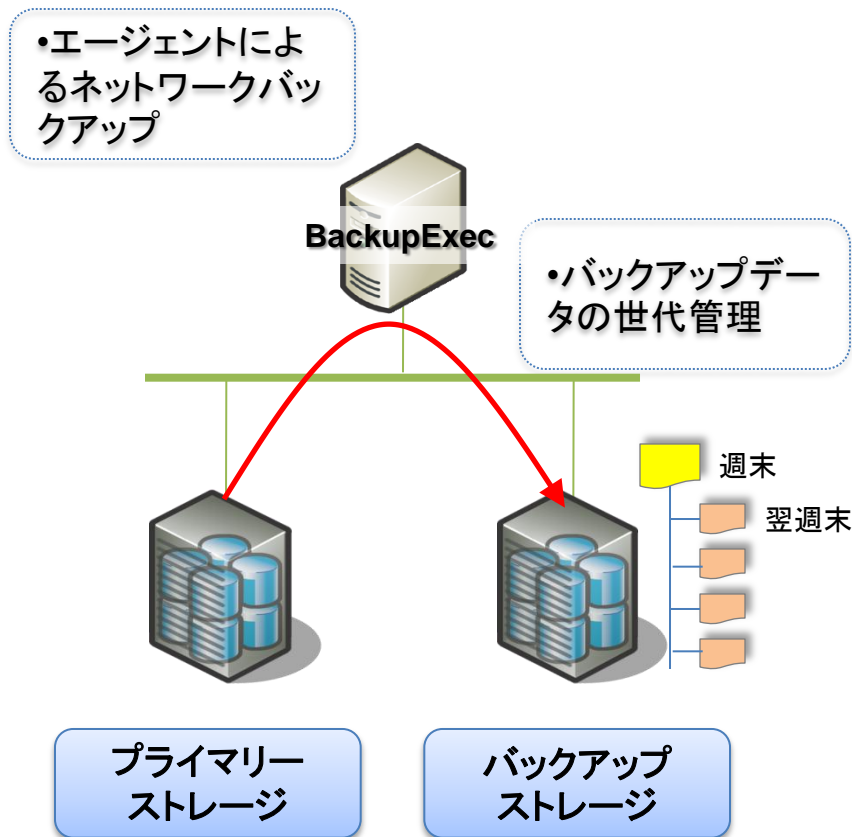
機能/サービス	ZiDOMA	BackupExec
動作OS	Linux, Windows	Windows, Linux
ユーザーインターフェース	GUI (Javaベース)	GUI
エージェント	不要	△ (アプリケーションの種類により必要)
導入・操作	非常に容易 (インストール～起動まで約15分)	理解するのに、やや難しい
NFS、CIFSサポート	○	○
コピー、移動、リンク	○	× (バックアップ取得のみ、オプションにより)
2次ストレージでの移動ファイル読み書き	○	× バックアップデータのため利用できない
データ差分管理	△ ファイルコピー機能とストレージ側スナップショット機能の組み合わせで実現	○ バックアップデータとして差分管理は可能
圧縮	×	○ 非圧縮も選択で可能
価格	Low	Mid

ZiDOMA – BackupExecとの違い



- ポリシーによるファイルアーカイブ
- セカンダリーストレージでのアクセスを可能にする
- ファイルをそのまま送ることで重複排除
- DataDomainとの連携
 - リアルタイムでの重複排除
 - データ保存領域は、重複排除後のデータ分のみ
 - ファイルをそのまま送ったほうが重複排除率が高い
 - 重複排除は、サーバCPUではなくDataDomainにて実施

BackupExec - ZiDOMAとの違い



- 世代管理によるバックアップデータ保存
- データ圧縮機能あり
 - 圧縮してしまうと重複排除率が落ちるため、非圧縮で送ることが望ましい
- アプリケーションの種類に応じたオンラインエージェントあり
 - Oracle、Exchange等
 - ネットワーク経由のバックアップ
- BackupExec 重複排除オプション
 - バックアップデータの事前チェックによる重複排除
 - ネットワークを流れるデータを軽減することができる
 - 重複排除処理をサーバCPUで行うため、性能が遅い？

 **WERVICE**®